

御殿堰 大黒天便り



◆第一二号◆



山形市中心市街地を流れる御殿堰。その豊かな水の流れを見守っているのが私「御殿堰大黒天」です。
 「大黒天便り」では、わたし大黒天が御殿堰の歴史・季節の話題・生活の知恵など『なるほど!』と思っていただけの内容をお伝えしていきたいと思っています。今回は第一二号です。

◆夏本番◆

八月に入り夏も本番を迎えました。先月より、夏のイベント目白押しの水の町屋御殿堰です。
 七月一ヶ月間は、「街なか回遊紅街道」のイベントを実施させていただきました。紅花を使ったソフトクリーム・アイスクリーム・蕎麦等を楽しんでいただきました。また、「紅花ミニ資料館」を開館し、貴重な宝物展示を観ていただいたり、紅花染めを体験していただきました。
 七月二三〜二五日は、やまがた舞子と一緒に絵付けをしていただいた風鈴を御殿堰に展示させていただきました。涼やかな風鈴の音色に、足を止める方が多いのが印象的でした。



「あなただけが知っている」
 やまがた街なかスナッパ
 写真コンテスト

街なかの美しい風景・イベントなど、街なかの隠れた魅力を伝える写真を募集しています。応募作品は、水の町屋七日町御殿堰と紅の蔵に八月一日(月)〜八月三十一日(水)の1カ月間展示を予定しています。
 とっておきの『あなただけが知っている』山形を写真に収めて、どしどしご応募ください。

【募集期間】

七月一五日(金)〜八月二五日(木)

【審査発表】

九月二日(金)

【賞・表彰】

●一般の部

賞状 特選1点×3万円
 賞金 入選2点×1万円

●高校生の部

賞状 特選1点×1万円相当商品
 商品 入選2点×5千円相当商品

【応募資格】

高校生以上

【応募作品】

①デジタルカメラ(携帯カメラ可)で撮影したカラー写真(画像データに限る。JPG形式・1作品3MBまで)
 ②画像加工した作品は不可とします。
 ③未発表作品(他のコンテストに応募していないもの)に限ります。

④指定の中心市街地エリア内で撮影した作品を募集します。

【お問合せ先】

山形まるごと館紅の蔵

「街なか情報館」

〇二三(七六九)五一〇一

【詳細】

山形まるごと館紅の蔵ホームページの特設ページからご覧下さい。

お出かけの楽しみ
スナッパ写真コンテスト
 やまがた街なか
 作中撮影中
 詳細はコチラから

◆夏のつるし飾り◆

三月の『吊るし雛』・五月の『端午の節句吊るし飾り』と、季節ごとのつるし飾りを二回に渡り創作・展示を致しました。
 七月一八日(月)からは、『夏のつるし飾り』として、三回目の展示を開始致しました。

『街中で季節感を』をテーマに、夏を連想させるモチーフをオリジナルで制作。ひとつひとつが、丁寧に手作りで作られています。是非じっくりとご覧になってください。

【展示期間】

七月一八日(月)〜八月三十一日(水)

【展示場所】

水の町屋御殿堰 町屋軒下

【展示時間】

一〇時〜一九時

※強風・激しい雨の場合は展示を中止することがございます。予めご了承ください。



◆珍客◆

水の町屋御殿堰へは、様々なお客様にお越しいただいております。

七月下旬のある日、なんと珍しいお客様が、敷地内に植えてある木に、カブトムシの姿が!どこから飛んできたのでしょうか?それとも近くで羽化したのでしょうか?

水の町屋御殿堰でゆっくりと羽を休めていっていただきたいですね。

山形あれこれ

⑩鳥海月山両所宮

道路正面には一七八三年六月建立の三間一戸二階建ての重厚で見事な造りの県指定文化財・隨身門が建ち、参道には台輪鳥居があります。正面の拝殿は大きく立派で、その奥に中門、二棟並びの本殿が木々の中に垣間見られます。その右脇には桃山時代の建物として残る境内社・城輪神社が祀られ、手前には伊勢神宮の式年遷宮により拝受した木材で復元した愛宕、熊野、若宮八幡の末社三社が祀られています。

境内左手には金井の庄の起源・金売吉次が洗い井戸とも伝えられている金井水があり、弁天池の中の島には境内社・巖嶋神社、池の畔には稻荷神社などが祀られています。社伝では、源頼義が安倍貞任討伐にあたって飽海郡吹浦の出羽一宮・鳥海山大物忌神社で鳥海・月山の両神に戦勝祈願し、凱旋した一〇六三年、その神恩に報いる為最上郷山形に社殿を造営して分霊を勧請し、国家泰平・武門吉事の神と称したのに始まると伝えられています。古くから「お宮様」と称され、北の総鎮守として尊崇されてきました。

平安時代末期、源義経が宝沢村炭焼藤太の子、吉次信高に嘱して、宮殿及び楼門・回廊・鳥居・玉垣を再建。鎌倉執政北条氏もまたこれを修造し、元弘兵革の後には国司がこれを営みました。

一五九一年二月、十一代山形城主・最上義光は城内二の丸にあった寺・成就院を神社参道西側に移築、別当寺とし、この社を最上家の祈願所とし、江戸時代には歴代山形藩主の鳥居氏・水野氏等の篤い崇敬を受けてきました。

一八七三年に郷社に列し、一八七九年八月に県社に昇格。一九六一年からは別表神社に加列されました。特殊神事に「ごくだめし(穀様)があり、旧暦七月一日早朝に飯・胡瓜・茄子・粟穂・稲穂を紙に包んで土中に埋め、翌年の旧暦六月末日に掘り出して豊凶を占うものです。

得物町

次号の発行は九月七日です。来月も皆様と紙面でお会いできるのを楽しみにしています。